

つやま市教委 かわら版

—津山市教育委員会だより—平成22年3月<第3号>

教育委員会については、
教育委員会の
ホームページでも、
ご案内しています。
ご覧ください。
<http://www.city.tsuyama.lg.jp/>

鶴山塾祝開塾25周年

市民のみなさまに、津山市教育委員会の活動について、もっと知っていただくことにより、教育委員会に関心を持っていただけるよう、つやま市教委かわら版を発行しています。

今回は、教育委員会関係課の事業や、地域の方にご協力いただいている事業をご紹介します。

「津山教育相談センター 鶴山塾」は津山市が青少年健全育成の一環として、学校生活、家庭生活、社会生活における悩みや課題を持つ子どもや保護者等に、温かみのある相談、助言、支援を行うことを目標に、昭和59年に開塾され、今年度で25周年を迎えました。

校内暴力や登校拒否が社会問題となっていた頃から、「治そうとするより、わかってもらう」との心で、大人の思いを無理やり子どもに押し付けず、子どもを丸ごと受け入れ、しっかり理解するという、姿勢を変わず持ち続け、社会的自立をめざした活動を続けてきました。

◆ボランティアの支援◆

鶴山塾の成果は、相談員の努力の結果でもあります。が、さらに市民ボランティア「とまり木」の方々のご支援ご協力なしではありえません。農園作業やスポーツ、季節行事など多くの体験活動で、ご協力をいただいています。

中でも、須江寛臣さんと竹内ちずかさんのお二人は、青少年健全育成事業に貢献されたことに対して、このたび津山市の市政功労者として表彰されました。心から感謝と敬意を表するとともに、ボランティアのみなさまには、今後も変わらぬご支援をお願いしたいと思います。

◆記念誌発行◆

25周年を記念して記念誌「鶴山塾のこころ」が発行されました。



鶴山塾のこれまでの活動がまとめられており、「今後、鶴山塾の基本姿勢を持ちつつ、支援のあり方について時代に柔軟な対応をしながら、一人ひとりの子どもに合った支援をじっくりと続け、人と人をつなぐ役割をする鶴山塾でありたい」としています。

◆教育委員の訪問◆

この25周年の功績に対しての感謝と激励、そして記念誌発行のお祝いのため、教育委員が鶴山塾を訪問しました。

市村塾長から鶴山塾の25年の歴史について改めてお話をいただき、改めて感謝、感動をいただきました。



◆教育相談について◆

相談日 月々金曜日

午前9時～午後5時

お問い合わせ先

教育相談センター 鶴山塾

Tel 22-2523

まずは面接相談から。

その状況によって、

継続的な面接相談

・訪問支援

・小中学生の通塾支援

・学校や関係機関との連携

など、様々な形で支援の仕方を見つけていきます。

学校のこと、友だちのこと、家族のことで悩んでいる子どもたち、また、子どものことで悩みや不安が解消できない保護者の方、お気軽にご相談ください。



60・15キャンペーンキャラクター
60 (ろくまる) ちゃんと
15 (いちご) ちゃん

がんばれ！つやまっ子

地域の方にお世話になってます

放課後子ども教室 訪問

放課後子ども教室は、放課後の子どもたちの、安全で健康やかな居場所作りのために、地域の方のご協力をいただき、公民館や学校などで開催されています。現在、市内に14教室あり、各教室では、遊びや音楽活動、様々な体験活動などを行っています。

今回訪問したのは、北小学



校内で行われている北小子ども教室。校内の空き教室で、毎週午後3時から4時30分まで開催されています。算数教室とパソコン教室が1週間おきに開催され、1年から6年まで全員で約30名、うち算数教室が1、3年、パソコン教室が4、6年となっています。

この日は算数教室の日で、先生をしてもらったのは、地域からボランティアで来られていた、森さん、梶岡さん、梶さんの3名。多いときは、5名の先生がいらっしゃるとのこと。訪問した時間は、午後3時半過ぎ。1年生は、もう課題を終えて帰った後で、2年生がにぎやかに算数プリントを解いています。2年生がプリントを終えた後、帰りの会などを終えた3年生が、算数教室にやってくるというように、学年によって、集合の時間帯が違うそうです。

丸付けもします。



問) 放課後子ども教室のお

知らせは、どのようにしていますか。

森さん) チラシを配って募集しました。

問) 算数プリントは学校で

準備されるのですか。

森さん) 算数プリントは私たちボランティアで準備します。その他の教材なども、市からの委託費の中で私たちが準備しています。

問) 算数プリントは、学年ごとに数枚あるようですが、児童が自分で選ぶのですか。

森さん) 児童が好きなプリントを選び、解いていきます。今の時期は、「力だめし」をするようにしています。児童が算数プリントを解い

た後、ボランティアの先生が丸付けをしていました。そのとき、わからなかったところを、もう一回、くわしく教えてもらっていました。

問) 児童の算数の指導をして、気になることはありませんか。

森さん) 単位や時計が理解できない子が多く、苦手なところは、みんな同じようなところですよ。わからなかったところをもう一度いっしょに考えるようにしています。

北小学校には、学童保育のひなづる児童クラブがあり、同じように放課後の居場所づくりをしています。児童クラブから教室にやってきて、パソコンをしたり算数のプリントを解いて、終わると再び児童クラブに帰っていく児童もいます。

まずは宿題からという児童。



プリントの後、お絵かきする児童。



現代は、地域コミュニティが希薄化し、子どもたちを見守りながら、ほめたりしなかったりする親密な人間関係を背景とした地域の教育力も低下していると言われています。このようときだからこそ、地域の大人が子どもたちに関わり、子どもたちが地域のひととふれあい、様々な体験をしながら育っていくことは大切ですよ。遊び、勉強、音楽活動、内容は様々ですが、地域の中で子どもたちが安心して過ごせる放課後子ども教室のよい取組が、広がってほしいですね。



クローズアップ市教委Ⅰ

中学校で査察指導

教育委員会の健全育成課には、青少年育成センターの指導員がいます。

普段は、各学校を巡回し、なかなか学校や、教室に入れない児童や生徒に声をかけています。

今回は、1学期に1回の、朝の査察指導―あいさつ運動を実施すると聞き、2校に参加しました。



1月の終わりに行った中道中学校では、校長先生も指導員といっしょに校門のところに立って、あいさつをしました。



朝早いうちは、自転車ですぐ生徒がパラパラと通学。控えめなあいさつで通り過ぎていきましたが、時間がたつと、自転車通学も徒歩通学も生徒の数が増えてきて、元気なあいさつができていました。

2月の初めに行った津山東中学校では、生徒指導の先生とPTAの会長さんが、指導員といっしょに、校門のところで、査察指導を行いました。

きびしいチェックもあり



あいさつも元気に、声かけも元気にできていました。自転車通学の生徒でヘルメットをかぶっていない生徒がいて、注意を受けていました。



指導員さんの一人が、生徒により近いところで指導中。

査察指導となると、登校の様子も、やはり生徒たちからも緊張を感じました。いつもはどうなのでしょう。

指導員の皆様、今後も青少年の健全育成をめざした活動をよろしくお願いします。

弥生住居改築工事了



元気に声かけをします。

文化財課では、老朽化していた沼の弥生住居をこのほど改築しました。



改築記念式典でのテープカットの様子

10月からの工事が完了し、1月25日には、改築を記念して、式典が行われました。

以前の楕円形の大きな弥生住居に比べて、今回はやや小さな円形の住居になっているそうです。これは、実際に出てきた遺構をもとに復元したもので、より本物に近いものになっているそうです。

なお、改築にあたり津山やよいライオンズクラブから寄付をいただいています。

ぜひ一度訪れてみては、いかがでしょうか。



クローズアップ市教委Ⅱ

第60回

津山市成人を祝う会

とき 1月10日(日)

場所 津山総合体育館

津山市の新人1160人のうち、921名が出席し、成人への門出を迎えました。



新津山洋学資料館開館

とき 3月19日(金)

いよいよオープンします。ぜひ一度、お立ち寄りください。

前庭から見た
津山洋学資料館



トップアスリート講師 アイススケート教室

とき 1月11日(月)

場所 アイスランド津山

アルペールビル五輪の銅メダリスト、川崎努さんを講師に迎え、アイススケート教室が開催されました。



みんな真剣!



あつ晴れ!おかやま国文祭 第25回国民文化祭 おかやま2010

県内外からたくさんの方々が集まって、全国各地で行われる、いろいろな文化活動を発表したり、交流する日本最大の文化の祭典が、津山市で平成22年10月30日(土)から11月7日(日)まで開催されます。



文芸祭「俳句大会」俳句作品募集!

豊かな自然と多くの文化遺産に恵まれたまち、振興俳句の旗手、西東三鬼のふるさと津山市において俳句を通じて文化の交流を図ります。

募集作品: 自作・未発表作品で、2句1組で1人3組まで。

応募部門: 「一般の部」「小・中・高生の部」

応募料: 小・中・高生は無料。

応募方法: 郵送・インターネット

応募期間: 平成22年4月1日(木)~6月30日(水)

賞: 文部科学大臣賞・国民文化祭実行委員会会長賞・岡山県知事賞ほか

吟行: 平成22年11月5日(金)

津山市内史跡名勝(津山城ほか)

俳句大会: 平成22年11月6日(土)

ベルフォーレ津山

記念講演 講師: 金子兜太氏

「戦後俳句の風景 - 三鬼のことなど」

お問い合わせ先: 国民文化祭推進室

TEL 32-7001



俳句にチャレンジしよう!

俳句部門では、小・中学校に「俳句ポスト」を設置しています。投句された作品は定期的に選考を行っており、今回は第2回目の「俳句ポスト」の俳句の審査が行われました。1834句の中から選ばれた小・中学校特選5句をご紹介します。

小学校の部

- ◇息を吐く白く変身世の中へ
- ◇あまのがわあの一とたちはあえてるか
- ◇とげみたいとんがりめがでたチューリップ
- ◇今日もいるあの子はいつも秋さがし
- ◇ゆきあそびだれにあてようあの一とに

中学校の部

- ◇しもばしら冬しか鳴らないがつきだ
- ◇卒業を別れと言わず旅立ちと
- ◇卒業の日まで数える暦かな
- ◇雪だるま光を放ち消えていく
- ◇手袋でつないだ手と手温かい

発行 津山市教育委員会(編集 教育総務課)
〒708-8501
津山市山北520番地 東庁舎
TEL 0868-32-2112(直通)
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課:

教育総務課 学校教育課 学校給食課 健全育成課 文化財課
スポーツ課 こども企画課・こども課 文化振興課 生涯学習課